

地方道つくば千代田線のバイパス道としても利用可能と思われるが、見解を伺う。

**都市整備部長** 議員ご提案の路線とは一部異なるものの、都市計画マスタープラン等の上位計画における、構想路線の総合的な整備方針の整理を図るとすれば、主要地方道つくば千代田線の交通渋滞緩和に繋がると思われる。本市では、これまで県議会土木委員会に対して渋滞緩和に向けた要望等を行っており、一部路線については、右折レーン、歩道整備、交差点改良整備に至っている。

**（掲載以外の質問事項）**  
 二 本市の食育について  
 三 「健康づくり21」の取り組みと課題

**太陽光発電の設備導入について**



吉田千鶴子議員

**質問** 小中学校、公共施設、都市公園等への太陽光発電設備の導入については、温暖化防止対策のみならず、防炎

拠点としての機能強化、地域経済の活性化にも資するメリットがあると考えます。今後、太陽光発電の導入を進めるべきと考えますが、見解を伺う。

**市民生活部長** 本市の公共施設等への設置状況は、神立地区コミユニティセンター、駅前ウララビル等に設置しており、順調に稼働している。現在国においては、昨年閣議決定された低炭素社会づくり行動計画に伴い、環境省など四省合同による太陽光発電導入拡大のためのアクションプランが策定された。このような中、本市では平成二十一年度予算において、地球温暖化防止行動計画の策定を予定している。今後の計画策定の中で、国の動向や考え方を踏まえ、太陽光発電設備について、環境保全のみならず、防災対応の設備として幅広く捉え、検討してまいりたい。

**（掲載以外の質問事項）**  
 二 男女共同参画のこれから



**校庭芝生化について**



柳澤 明 議員

**質問** 鳥取市内のNPO法人が開発したポット苗方式による芝生化については、鳥取方式とされ、その芝は、従来の芝に比べて非常に手間がいらず、十分育成することである。子どもたちの情操教育等のためにも、市内の公立学校の校庭を芝生化したいと考えるが、見解を伺う。

**教育長** これまでの芝生化については、芝の性質上、費用と手間が掛かること、また、生育中は校庭の使用を制限しなければならぬことから、実現できなかったのが実情であった。議員ご提案の鳥取方式、西洋芝ティフトンは、雑草等の除草もいらず、生育期間中も校庭の使用制限の必要がないといった大きな特徴がある。ただし、大量の水やりが必要なことや、生育旺盛のため、夏場は週二回程度の芝刈りが必要であることなど、

管理面での課題もあることから、来年度、いくぶん幼稚園の園庭において実際に検証し、今後の芝生化を検討してまいりたい。

**（掲載以外の質問事項）**  
 二 コミュニティバスについて  
 三 道の駅について



園庭芝生化予定のいくぶん幼稚園

**都市計画道路土浦新治線の進捗状況について**



川原場明朗議員

**質問** 都市計画道路土浦新治線の道筋は、おおつ野ヒルズ付近から田村地区、手野町レンコン地帯、木田余跨線橋、日立電線の南側、赤池付近の

旧六号国道に至る区間であり、この道路が完成した暁には、霞ヶ浦大橋方面から常磐道土浦北インター新治地区方面への利便性が飛躍的に向上し、中貫白鳥線の交通渋滞解消にも役立つものである。事業の進捗状況を伺う。

**都市整備部長** 事業の進捗としては、都市計画道路木田余池下線から県道牛渡馬場山土浦線までの五百六メートルについて、既に平成十六年に部分供用している。今後の見通しについて茨城県に伺ったところ、用地買収は完了しており、平成二十一、二十二年度の二ヶ年で道路改良及び舗装工事を進め、平成二十二年度末には開通する予定である。今後、一日も早い全線供用開始に向けて努力してまいりたい。



全線開通が待ち望まれる土浦新治線